



Title	ウデヘ語の疑問詞による相関構文
Author(s)	白, 尚燁
Citation	北方言語研究, 1, 101-114
Issue Date	2011-03-25
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/45232
Type	bulletin (article)
File Information	nls-1-06.pdf



[Instructions for use](#)

ウデへ語の疑問詞による相関構文

白 尚 燐

(北海道大学大学院修士課程)

1. はじめに

語順類型論の観点から関係節を分類すると、関係節が主要部に後続する①名詞後方型と、関係節が主要部に先行する②名詞前方型、それから主要部が関係節の内部に現れる③内位主要部型に分けることができる。この三つのタイプは、関係節が主節の構成素を成す「埋め込み関係節」の類である(コムリー 1992: 155)。下記の例のように、名詞前方型と内位主要部型の関係節が見られるウデへ語¹は、英語の関係代名詞のような関係節標識をもたないのが一般的である。

①名詞後方型

1) I do not know the man [who came here yesterday.]

主要部 関係節

「私は昨日ここに来た人を知らない」

②名詞前方型

2) [ei kusige-we min-du sungele-e] nii ηene-e-ni.
 this nife-ACC I-DAT give-PART.PAST person go- PART.PAST-3S

関係節 主要部

「このナイフを私にくれた人は去った」

Nikolaeva & Tolskaya (2001: 675)

③内位主要部型

3) [bi odo-i zugdi-ziga-wa wo-o-ni] uligdiga.
 I grandfather-1S house-PL-ACC make-PART.PAST-3S beautiful

主要部

「私の祖父が家を建てたのは美しい」

Nikolaeva & Tolskaya (2001: 681)

ところが、ウデへ語には主節の構成素ではなく、単に主節に接合される「接合関係節²」が存在し、この場合、疑問詞が関係節標識として働く。これが従属節・主節に同じ疑問詞または疑問詞ー指示詞が用いられる相関構文である。これは、不定の意味をもつ従属節の疑問詞を主節で疑問詞または指示詞で受けなおす構文で、直訳をすると「誰(か)が～する、その人が～する³」のような意味になる。

¹ 本稿のウデへ語表記は、風間(2010: 195-196)に基づいて筆者が統一したものであり、出典の表記と異なることがある(母音: a, i, u, e (=ə), o, 子音: p, t, c (=č), k, b, d, z (=ž), g, m, n, ŋ, f, s, x, l, w, j)。グロス分析も筆者の判断によるものであることをことわっておく。

² 関係節における「埋め込み関係節」と「接合関係節」の分類と定義はコムリー(1992: 155)の記述によるものである。

³ 「誰(か)が～する、その人が～する」を自然な言い方に言い換えると、「～する人が～する」になる。

- 4) *nii*⁴ *baa-mi*, *nii* *xente*.
 who find-CONV who owner

「誰かが見つけたならば、その人が主人だ」

風間 (2007 : 193)

本稿では、先行研究に基づき、ウデヘ語の疑問詞による相関構文を①疑問詞－疑問詞型、②疑問詞－指示詞型、③疑問詞－ゼロ型の三つのタイプに分け、それぞれの統語的特徴について考察を行った。またウデヘ語に大きく影響を与えたと推定される中国語・ロシア語と比較・対照した結果、ウデヘ語の①疑問詞－疑問詞型は中国語と、ウデヘ語の②疑問詞－指示詞型はロシア語と、ウデヘ語の③疑問詞－ゼロ型は中国語・ロシア語に類似した特徴を持っていることが確認できた。以下では、先行研究によって問題点を明らかにしたのち、それぞれのタイプについて中国語・ロシア語と対照する。

2. 先行研究および問題点提示

2.1 先行研究

A ウデヘ語の疑問詞による相関構文

ウデヘ語の疑問詞による相関構文に関する先行研究⁵は Nikolaeva & Tolskaya (2001)と風間 (2010) で見られるが、どちらも簡略な記述のみである。

[1] Nikolaeva & Tolskaya (2001)

Nikolaeva & Tolskaya (2001)では、本稿で扱っている相関構文を同等相関構文(equative correlatives)と分類し、従属節・主節に同じ疑問詞が反復されるタイプと、従属節の疑問詞が同じ文法機能を担う指示代名詞(*u*)*ti* と照応するタイプがあると記述している。

- 5) *nii* *galakta-mi*, *nii* *baa*⁶.
 who seek-CONV who find

「誰かが探せば、その人が見つける」

Nikolaeva & Tolskaya (2001 : 763)

- 6) *nii* *cai-la* *xetigene-mi*, *uti* *ete-i-ni*.
 who far-LOC jump-CONV that win-PART.PRES-3S

「誰かが遠くへジャンプしたら、その人が勝つ」

Nikolaeva & Tolskaya (2001 : 763)

[2] 風間 (2010)

風間 (2010) では、疑問詞による相関構文について次の例をあげるのみである。

しかし、本稿では、相関構文の構造をより明らかに表わすため、直訳に準じた和訳をつけたことをことわっておく。

⁴ ウデヘ語の疑問詞 *nii*「誰」は、普通名詞「人」と同音異義語の関係にある。ここでは、他の疑問詞の用法と平行しているところから疑問詞と見なす。

⁵ 他のウデヘ語文法書 Shnejder (1936)、Kormushin (1998)、Girfanova (2002)も参照したが、本稿で扱っている相関構文に関する記述は見当たらないので、言及しない。

⁶ 例文 5)、21) は文が動詞語幹で終わっている。これは文末に終止形(定動詞形或は形動詞形)がくるウデヘ語において異質的な文である。

- 7) nii=dee e-i etete, e-i-ni diga.
 who=PARTIC NEG-PART.PRES work NEG-PART.PRES-3S eat
 「誰かが働かない、食べない」 風間 (2010 : 247)

B ツングース諸語の疑問詞による相関構文

このような疑問詞の相関構文はウデヘ語だけではなく、他のツングース諸語にも見られる。ここで興味深いのは、このような構文が周辺の大言語の中国語とロシア語にも確認されることである。ツングース諸語の疑問詞による相関構文と周辺言語との影響関係に関する先行研究を紹介する。

[1] 津曲 (1996)

a. 中国語の影響 (疑問詞－疑問詞)

津曲 (1996) は、ツングース諸語における疑問詞の反復による相関構文は同じく疑問詞－疑問詞構造の複文をもつ中国語との類似から、中国語からの影響として取り上げている。

疑問詞を反復することによる関係詞的用法は中国語の表現「要多少，给多少」と平行しているところから影響関係が考えられる。同様の表現は今のところ中国領ではシベ語に、ロシア領でもナーナイ語・オルチャ語に確認される。

津曲 (1996 : 182)

b. ロシア語の影響 (疑問詞－代名詞)

津曲 (1996 : 184) は、ツングース諸語における疑問詞－代名詞の相関構文をロシア語の影響によるものとして見ている。

ナーナイ語⁷

- 8-1) ui zobo-asi, tei nai zep-tesi.
 who work-PRES.NEG that person eat-PRES.NEG
 「誰か働かない、その人は食べない」 Avrorin (1961 : 256)

ロシア語

- 8-2) Кто не работает, тот не ест.
 who.NOM NEG work.IMPF.PRES.3S that.NOM.M NEG eat.IMPF.PRES.3S
 「誰か働かない、その人は食べない」 Avrorin (1961 : 256)

[2] 風間 (2003)

風間 (2003) は、疑問詞の相関構文がモンゴル語、チュルク語などのアルタイ諸語全般に見られるので、それらをすべて中国語・ロシア語の影響として解釈することに疑問を呈している。

⁷ ナーナイ語表記は、筆者がウデヘ語表記にあわせて変えたものである。

こうした構文はモンゴル語やトルコ語でも普通に用いられるという。一中略一 アルタイ諸言語全般に広く存在するものようである。したがってツングース諸語にある相関構文をすべてただちにロシア語や中国語からの近年の影響と考えることには疑問を呈したい。

風間 (2003 : 292)

2.2 問題点提起

以上、先行研究ではツングース諸語全般に見られる疑問詞の相関構文について中国語・ロシア語の影響による可能性をめぐって異なる見方が示されている。しかし、その影響関係はまだはっきりと究明されていない。それはツングース諸語個々の言語における疑問詞の相関構文について研究が十分に行われていないからであろう。そこで、本稿はその影響関係を明らかにする試みの一環として、ロシア領ツングース諸語のうち、もっとも中国語から影響をうけた言語として知られているウデヘ語における疑問詞の相関構文について考察を行い、周辺の大言語である中国語・ロシア語と比較・対照し、統語レベルでの類似点と相違点について考察する。

3. 相関構文のタイプ

先行研究に基づいて利用可能なウデヘ語テキストを調べ、従属節・主節それぞれ対応する要素を品詞別に分類した結果、ウデヘ語には①疑問詞－疑問詞型、②疑問詞－指示詞型、③疑問詞－ゼロ型の3種類の疑問詞相関構文が確認された。三つのタイプの用法を一つずつ詳しく確認しながら、類似した構造の中国語・ロシア語の文と比較・対照を行う。

A. 疑問詞－疑問詞型

ウデヘ語

まず、疑問詞－疑問詞型とは、従属節・主節に同じ疑問詞が反復される構文である。疑問詞－疑問詞型に用いられる疑問詞には、nii「誰」、jeu「何」、aali「いつ」、ile「どこ」、ono「どう」、adi「いくつ」がある。疑問詞 nii「誰」と jeu「何」は文において主語または目的語として働く。その他の疑問詞は、それぞれ「時間」、「場所」、「方式」、「数量」を表わす副詞的働きをする。

① nii 「誰」 人 (関係代名詞的役割) ⇔ 主語

9) nii baa-mi, nii xeŋte.
who find-CONV who owner

「誰かが見つけたならば、その人が主人だ」 風間 (2007 : 193)

② jeu 「何」 物 (関係代名詞的役割) ⇔ 目的語

10) nakta-wa kiana-wa, jeu ise-mi jeu waa-i.
boar-ACC dear-ACC what see-CONV what hunt-PART.PRES

「イノシシを、アカシカを、何か見れば、それを獲る」 風間 (2007 : 219)

- ③ aali 「いつ」 時間（関係副詞的役割）⇔ 副詞的
 11) aali ɲene-mi, aali ute gele-i.
 when go-CONV when so seek-PART.PRES
 「いつか行けば、そのときそんなふうにもとめる」 風間（2009 : 90）
- ④ ile 「どこ」 場所（関係副詞的役割）⇔ 副詞的
 12) ile jatasi-li-mi, ile jatasi-i.
 where give birth to-INC-CONV where give birth to-PART.PRES
 「どこか出産し始めれば、そこで産む」 風間（2007 : 186）
- ⑤ ono 「どう」 方式（関係副詞的役割）⇔ 副詞的
 13) nemce keje-le-ni, ono onjo-i-mi⁸, ono taji-u.
 german language-LOC-3S how write-(?)-CONV how read-IMPERS
 「ドイツ語ならどのように書いてあれば、そのように読めばよい」
 カンチュガ（2010 : 26）
- ⑥ adi 「いくつ」 数量（関係副詞的役割）⇔ 副詞的
 14) adi ije waa-mi, adi tikpene-i.
 how many horn hunt-CONV how many pack-PART.PRES.
 「何頭か袋角を獲れば、その分ねじ込む」 風間（2004 : 464）

中国語

中国語にも、ウデヘ語の疑問詞相関構文に相当する連鎖構文が存在する。中国語の連鎖構文に関する先行研究を紹介する。

前後の従節と主節の両節に同一の疑問代詞、数量詞、副詞〈越・愈〉が呼応して用いられ、従節の変化に伴い、主節も関数関係のあるいは比例的に変化する複文を連鎖複文と称する。

鳥井（2004 : 91）

中国語にもウデヘ語と同じく疑問詞－疑問詞型の構文が見られる。疑問詞 *shuí* 「誰」、*shénme* 「何」は文において主語、あるいは目的語としての働きをする。一方、*shénmeshíhou* 「いつ」、*nǎ* 「どこ」、*zěnmē* 「どう」、*duōshao* 「いくつ」の疑問詞は副詞的働きをする。中国語の疑問詞－疑問詞型に用いられる疑問詞はウデヘ語の疑問詞と並行している。

- ① *shuí* 「誰」 人（関係代名詞的）⇔ 主語
 15) *shuí ài qù, shuí qù.*
who want go who go
 谁爱去, 谁去
 「誰かが行きたい、その人が行く」 相原（1996 : 337）

⁸ 非人称副動詞-miの直前には動詞語幹がくるのが普通だが、動詞語幹に接辞-iが伴われる例がある（Tsumagari 2003 : 54）。これは話者が現在時制-iを動詞語幹と混同した結果によるものと見られている（津曲 2010 : 109）。

- ② shénme 「何」 物（関係代名詞的）⇔ 目的語
- 16) bīngxiāng lǐ yǒu shénme, chī shénme.
refrigerator inside be what eat what
冰箱里有什么，吃什么
「冷蔵庫の中に何かがある、それを食べる」 相原（1996：337）
- ③ shénmeshíhou 「いつ」 時間（関係副詞的）⇔ 副詞的
- 17) shénmeshíhou cún gòu le, shénmeshíhou mǎi mótuōchē.
when save enough PERF when buy motorcycle
什么时候存够了，什么时候买摩托车
「いつか貯金がたまったら、そのときにバイクを買う」 相原（1996：337）
- ④ nǎ 「どこ」 場所（関係副詞的）⇔ 副詞的
- 18) nǎli xūyào, jiù dào nǎli qù.
where need, then arrive where go
哪里需要、就到哪里去
「どこか用がある、そこに行く」 相原（1996：337）
- ⑤ zěnmē 「どう」 方式（関係副詞的）⇔ 副詞的
- 19) nǐ zěnmē shuō, wǒ jiù zěnmē bàn.
you how say I then how do
你怎么说，我就怎么办
「あなたがどのように言う、私はそのようにする」 小川（2006：206）
- ⑥ duōshao 「いくつ」 数量（関係副詞的）⇔ 副詞的
- 20) háizi yào duōshao qián, tā jiù gěi duōshao qián.
child want how much money he then give how much money
孩子要多少钱，他就给多少钱
「子どもがどのくらいお金がほしい、彼はその分お金をあげる」 小川（2006：206）

ロシア語

既存の文法書（山崎 1990、城田 1993、原 1996、宇多 2009）等を参照する限り、ロシア語には疑問詞－疑問詞型の関係節は存在しないようである。

B. 疑問詞－指示詞型

ウデヘ語

次に疑問詞－指示詞型で、従属節に疑問詞、主節に指示詞が用いられる構文である。ウデヘ語文法書及び、テキストを調べた結果、従属節・主節でお互い同じ文法機能を担う疑問詞－指示詞[①nii「誰」－uti（指示代名詞）、②jeu「何」－uta（指示代名詞）、③jau-xi「何-ALL」－tau-xi（指示詞-ALL）、④jeu-la「何-LOC」－ta-la（指示詞-LOC）]のパターンが確認された。

- ① nii 「誰」－uti (指示代名詞) 人 (関係代名詞) ⇔ 主語
 21) nii caala-mi, uti unija-la.⁹
 who want-CONV that spoon-VBLZ
 「誰かがほしいなら、その人がすくう」 Nikolaeva & Tolskaya (2001:763)
- ② jeu 「何」－uta (指示代名詞) 物 (関係代名詞) ⇔ 目的語
 22) jeu e-si-mi oŋmo, uta-wa teu teluŋu-ø-mi.
 what NEG-PART.PAST-1S forget that-ACC all narrate-PRES-1S
 「何か忘れなかったら、それを全て語る」 風間 (2007 : 234)
- ③ jau-xi 「何-ALL」－tau-xi (指示詞-ALL) 方向 (関係副詞)
 23) jau-xi susa-a, tau-xi susa-cta-si-a-ni.
 what-ALL run away-PART.PAST. there-ALL run away-DISTR-MULTI-PART.PAST-3S
 「どこかへ逃げたら、そっちへ逃げた」 風間 (2010 : 82)
- ④ jeu-la 「何-LOC」－ta-la (指示詞-LOC) 場所 (関係副詞)
 24) jeu-la bui egdi bi-si-ni, ta-la bagdi-i.
 what-LOC animal a lot be-PART.PAST-3S that-LOC live-PART.PRES.
 「どこか獣がたくさんいたら、そこで暮らす」 Nikolaeva & Tolskaya (2001 : 667)

中国語

中国語にも疑問詞－指示詞型の構文が存在する。しかし、中国語における疑問詞－指示詞型は中国語話者に確認した結果、従属節・主節に来る要素に制約があって、疑問詞 shuí 「誰」－人称代名詞 (3 人称) と疑問詞 nǎ 「どこ」－指示詞のペアのみ存在する。これらはすべて疑問詞－疑問詞に入れ替えることが可能である。高橋 (2006 : 167) によると、主節の疑問詞を人称代名詞または指示詞に変えることによってその対象がより特定化される効果が得られるとされている。

- ① shuí 「誰」－人称代名詞
 25) shuí de yìjiàn zhèngquè, wǒmen jiù zànchéng tā de yìjiàn.
 who of opinion right, we then agree he of opinion
 谁的意見正确, 我们就赞成他的意见
 「誰かの意見が正しい、私たちはその人の意見に賛成する」 高橋 (2006 : 167)
- ② nǎ 「どこ」－指示詞
 26) nǎr de kùnnan zuì duō, wǒmen jiù yīnggāi dào nàr qù.
 where of difficulty most a lot, we then should arrive there go
 哪儿的困难最多, 我们就应该到那儿去
 「どこかが問題が最も多い、私たちはそちらへ行くべきです」 高橋 (2006 : 167)

ロシア語

ロシア語にも疑問詞－指示詞型が存在する。ただし筆者の判断では、ロシア語の関係

⁹ 注6参照

文では指示詞－疑問詞の語順が一般的であり、疑問詞－指示詞の語順¹⁰が見られるのは諺・格言の場合が多いように思われる。その他にも、主節にくる要素は指示詞に限定され、主語・目的語などの項として働く疑問詞 кто「誰」、что「何」は、主節では指示代名詞 тот (то) が伴われる。「時間」、「場所」、「方式」、「程度」などの副詞的に働く疑問詞の場合も、主節で従属節の疑問詞に対応する指示詞がくる。下記のうち、出典の記載のないものは、ロシア語話者から直接得られたものである。

- ① кто「誰」 人（関係代名詞）⇔ 主語・目的語
 27) Кто хочет, тот добьется.
 who.NOM want.IMPF.PRES.3S, that.NOM.M take.PF.PRES.3S
 「誰かが欲する、その人がそれを得る」 原（1996：131）
- ② что「何」 物（関係代名詞）⇔ 主語・目的語
 28) Что с возу упало, то пропало.
 what. NOM from wagon.GEN fall.IMPF.PAST.3S.N that. NOM.N get lost.PF.PAST.3S.N
 「何かが荷車から落ちた、それがなくなった」 原（1996：131）
- 29) Они что видят, то и поют.
 they.NOM what.ACC see.IMPF.PRES.3P, that.ACC.N PARTIC sing.IMPF.PRES.3P
 「彼らは何かを目にする、それを歌う」 山崎（1990：102）
- ③ когда「いつ」 時間（関係副詞）
 30) Когда поверишь, тогда и увидишь
 when believe.PF.PRES.2S then PARTIC see.PF.PRES.2S
 「いつかあなたが信じる、そのとき見える」
- ④ где「どこ」、куда「どこへ」 場所（関係副詞）
 31) Где тонко, там и рвется.
 where thin.N there PARTIC tear.IMPF.PRES.3S
 「どこか薄い、そこが裂けやすい」 宇多・徳永（2003：471）
- 32) Куда иголка, туда и нитка.
 to where needle.NOM there PARTIC thread.NOM
 「どこへ針が行く、そちらへ糸も行く」 宇多・徳永（2003：470）
- ⑤ как「どう」 方式（関係副詞）
 33) Как хочешь, так и понимай.
 how want.IMPF.PRES.2S so PARTIC understand.IMPF.IMPER
 「どのように願う、そのように理解しなさい」
- ⑥ сколько「いくつ」 数量（関係副詞）
 34) Сколько ты заработал, столько и получишь.
 how much you.NOM work.PF.PAST.M that much PARTIC receive.PF.PRES.2S
 「どのぐらいあなたが働いた、その分受け取る」

¹⁰ 疑問詞－指示詞倒置に伴って、主節の指示詞を強調する小詞 и が見られる傾向がある。例文29)－34)参照。

C. 疑問詞ーゼロ型

ウデヘ語

三番目は疑問詞ーゼロ型で、従属節には疑問詞が現れ、主節ではそれを受けなおす要素がゼロになっている構文である。疑問詞ーゼロ型は、従属節の疑問詞が主節の主語、または目的語としての役割をする場合のみ見られる。これは疑問詞ー疑問詞型、もしくは疑問詞ー指示詞型の別形であって主節の疑問詞、または指示詞が省略されていると推測される。これは一見違和感のある文に見えるが、省略しても文脈で理解できるのでゼロになっているものであろう。

① nii 「誰」ーゼロ

- 35) nii e-i mute, (∅) icaa mamasa bi-zeje-ni.
 who NEG-PART.PRES finish small wife be-PART.FUT-3S
 「誰か終らない、(その人が) 小さな妻となるだろう」 風間 (2007 : 212)

② jeu 「何」ーゼロ

- 36) jeu e-si-mi onmo, (∅) teluju-∅-mi.
 what NEG-PART.PAST-1S forget narrate-PRES-1S
 「何か忘れなかった、(それを) 語る」 風間 (2007 : 234)

中国語

中国語には全ての疑問詞において疑問詞ーゼロ型の相関構文が存在する。しかし、主節の疑問詞の省略によって、文の焦点が疑問詞から動詞に移る傾向がある。次の中国語の例文は中国語話者から得たもので、() 内の疑問詞は省略可能である。

① shuí 「誰」

- 37) shuí xiǎng chī, (shuí) jiù chī.
 who want eat (who) then eat
 谁想吃, (谁) 就吃
 「誰か食べたい、その人が食べる」

② shénme 「何」

- 38) yǒu shénme, jiù mǎi (shénme).
 be what then buy (what)
 有什么, 就买 (什么)
 「何かがある、それを買う」

③ shénmeshíhou 「いつ」

- 39) xiǎng shénmeshíhou qù, jiù (shénmeshíhou) qù.
 want when go then (when) go
 想什么时候去, 就 (什么时候) 去
 「いつ行きたい、そのとき行く」

- ④ nǎ 「どこ」
 40) xiǎng qù nǎr, jiù qù (nǎr).
 want go where then go (where)
 想去哪儿, 就去 (哪儿)
 「どこか行きたい、そこへ行く」
- ⑤ zěnmē 「どう」
 41) xiǎng zěnmē zuò, jiù (zěnmē) zuò.
 want how do then (how) do
 想怎么做, 就 (怎么) 做
 「どのようにしたい、そのようにする」
- ⑥ duōshǎo 「いくつ」
 42) yǒu duōshǎo, jiù mǎi (duōshǎo).
 be how many then buy (how many)
 有多少, 就买 (多少)
 「いくつある、その分買う」

ロシア語

ロシア語も同様に疑問詞一ゼロ型が存在する。下記の例文¹¹を用い、ロシア語話者に確認した結果、全ての疑問詞において主節の指示詞が省略可能であることが確認された。

- ① кто 「誰」一ゼロ
 43) Кто хочет, (тот) добьется.
 who.NOM want.IMP.F.PRES.3S, (that.NOM.M) take.PF.PRES.3S
 「誰かが欲する、その人がそれを得る」 原 (1996 : 131)
- ② что 「何」一ゼロ
 44) Что ты посеешь, (то) (и) пожнешь.
 what.ACC you.NOM scatter.PF.PRES.2S (that.ACC.N) (PARTIC) cut.PF.PRES.2S
 「何かを巻く、それを刈り取る」 宇多・徳永 (2003 : 471)
- ③ когда 「いつ」一ゼロ
 45) Когда поверишь, (тогда) (и) увидишь
 when believe.PF.PRES.2S (then) (PARTIC) see.PF.PRES.2S
 「いつかあなたが信じる、そのとき見える」
- ④ где 「どこ」、куда 「どこへ」一ゼロ
 46) Где тонко, (там) (и) рвется.
 where thin.N (there) (PARTIC) tear.IMP.F.PRES.3S
 「どこか薄い、そこで裂けやすい」 宇多・徳永 (2010 : 471)

¹¹ 例文45), 47), 48)は前記の疑問詞一指示詞型の例を活用したことをことわっておく。

⑤ как 「どう」－ゼロ

47) Как хочешь, (так) (и) понимай.
how want.IMPF.PRES.2S (so) (PARTIC) understand.IMPF.IMPER
「どのように願う、そのように理解しなさい」

⑥ сколько 「いくら」－ゼロ

48) Сколько ты заработал, (столько) (и) получишь.
how much you.NOM work.PF.PAST.M (that much) (PARTIC) receive.PF.PRES.2S
「どのぐらいあなたが働いた、その分受け取る」

4. 終わりに

ウデヘ語・中国語・ロシア語それぞれの言語における疑問詞の相関構文について考察を行った。その結果、下記のような傾向が見られた。下記の表は今回参照したウデヘ語文法書、またはウデヘ語用例に基づいて得られたもので、類似した用例が見つかったものを○で、見つかっていないものを×で表わした¹² (U:ウデヘ語、C:中国語、R:ロシア語)。

A. 疑問詞－疑問詞型

ウデヘ語の疑問詞－疑問詞型の相関構文に対して、中国語は統語・意味的に非常に類似した性質を持っていることが見られた。しかし、ロシア語には疑問詞－疑問詞型の関係文は存在しないようである。

疑問詞－疑問詞型の分布

	U	C	R
who	○	○	×
what	○	○	×
when	○	○	×
where	○	○	×
how	○	○	×
how many/much	○	○	×

B. 疑問詞－指示詞型

疑問詞－指示詞型は、ウデヘ語・中国語・ロシア語それぞれの言語に見られる。しかし、その構造について考察を行った結果、従属節の疑問詞と主節の指示詞に来る要素に制約があることが判明した。ウデヘ語では *nii* 「誰」－指示代名詞、*jeu* 「何」－指示詞、*jau-xi* 「どこへ」－指示詞、*jeu-la* 「どこで」－指示詞、中国語では *shuí* 「誰」－人称代名詞、または *nǎ* 「どこ」－指示詞、ロシア語では全ての疑問詞において、疑問詞－指示詞の形式が存在する。したがって、ウデヘ語に見られる疑問詞－指示詞型の相関構文は、

¹² ウデヘ語における疑問詞－指示詞型・疑問詞－ゼロ型の例は、今回参照したコーパスでは見つからないが、今後見つかる可能性もあるので、「？」で表わしたことをことわっておく。

ロシア語により近い性質を持っていると判断できる。

疑問詞－指示詞型の分布

		U	C	R
who		○	○	○
what		○	×	○
when		?	×	○
where	at where	○	○	○
	to where	○	×	○
how		?	×	○
how many/much		?	×	○

C. 疑問詞－ゼロ型

最後に疑問詞－ゼロ型は、三つの言語すべてにおいて確認された。しかし、ウデヘ語には中国語とロシア語のように疑問詞が副詞的に働く相関構文の例は見つかっていない。

疑問詞－ゼロ型の分布

	U	C	R
who	○	○	○
what	○	○	○
when	?	○	○
where	?	○	○
how	?	○	○
how many/much	?	○	○

5. 今後の課題

ウデヘ語の疑問詞による相関構文がウデヘ語本来の特徴であるか、それとも中国語・ロシア語の影響なのかは今の段階で断定することはできない。その影響関係を明確にするためには、ウデヘ語の例文拡充と詳細な分析と並んで、他のツングース語・モンゴル語・チュルク語における疑問詞の相関構文を見極めなければならない。これは今後の課題にしたいと思う。

略号一覧

1S : 1 人称単数

2S : 2 人称単数

3S : 3 人称単数

1P : 1 人称複数

2P : 2 人称複数

3P : 3 人称複数

ACC : 対格

ALL : 方向格

CONV : 副動詞

DAT : 与格

DISTR : 分配相

FUT : 未来

F：女性	GEN：生格	IMPF：不完了動詞
IMPER：命令	IMPERS：非人称	INC：起動相
LOC：処格	M：男性	MULTI：多回相
NEG：否定	NOM：主格	N：中性
PARTIC：小詞	PAST：過去	PERF：完了接辞
PF：完了動詞	PL：複数	PRES：現在
PART.FUT：形動詞未来	PART.PRES：形動詞現在	PART.PAST：形動詞過去
VBLZ：動詞化接辞	=：付属語境界	

参考文献

- Avrorin, V. A. 1961 *Grammatika nanajnskogo jazyka 2*. Moskva/Leningrad: AN SSSR: 255-6
- コムリー, バーナード 1992 松本克己・山本秀樹訳『言語普遍性と言語類型論』ひつじ書房
- Girfanova, A.H. 2002 *Udeghe*. Munchen: Lincom Europa
- 風間伸次郎 2003 「アルタイ諸言語の 3 グループ (チュルク、モンゴル、ツングース)、および朝鮮語、日本語の文法は本当に似ているのか—対照文法の試み」『日本語系統論の現在』日文研叢書 31、アレキサンダー・ボビン／長田俊樹共編、国際日本文化研究センター：249-340
- Kormushin, I. V. 1998 *Udyxejskij jazyk*. Moskva: Nauka
- Nikolaeva, Irina & Maria Tolskaya 2001 *A Grammar of Udihe*. Mouton de Gruyter
- Shnejder, E. P. 1936 *Kratkij udegejsko-russkij slovar'*. Moskva/ Leningrad: Gosudarstvennoe uchebno-pedagogicheskoe izdatel'stvo
- 津曲敏郎 1990 「ツングース語の類型と相違」小谷凱宣編『北方諸文化に関する比較研究』名古屋大学教養部：137-147
- 1996 「中国・ロシアのツングース諸語」『言語研究』110：177-191
- 2010 「ウデヘ語音韻論覚え書き—地域類型的観点から」北海道大学大学院文学研究科言語情報学講座編『言語研究の諸相』北海道大学出版会：103-112
- Tsumagari, T. 2003 *Two Udehe Folktale Texts with Grammatical Analysis. The Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko* 61: 43-73, Tokyo
- 鳥井克之 2004 「再論中国語の複文について」『外国語教育研究』8号：75-97, 関西大学

ウデヘ語用例

- カンチュガ著・津曲敏郎編訳 2010 『ウデヘ語自伝テキスト 2』北海道大学大学院文学研究科
- 風間伸次郎 2004 『ウデヘ語テキスト(A)』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 2006 『ウデヘ語テキスト 2』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 2007 『ウデヘ語テキスト 3』北海道大学大学院文学研究科
- 2008 『ウデヘ語テキスト 4』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

- 2009 『ウデヘ語テキスト 5』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
——— 2010 『ウデヘ語テキスト 6』 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

中国語用例と分析

- 相原茂・石田知子・戸沼市子 1996 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 同学社
小川郁夫 2006 『中国語文法・完成マニュアル』 白帝社
高橋弥守彦 2006 『実用詳解中国語文法』 郁文堂

ロシア語用例と分析

- 原求作 1996 『ロシア文法の要点』 水声社
城田俊 1993 『現代ロシア語文法』 東洋書店
宇多文雄・徳永晴美 2003 『ロシア語会話とっさのひとこと辞典』 DHC
宇多文雄 2009 『ロシア語文法便覧』 東洋書店
山崎紀美子 1990 『ロシア語の構文』 くろしお出版

Correlative Clauses with Interrogative in Udihe

Sangyub BAEK

(Graduate school of Letters, Hokkaido University)

There are three types of correlative clauses in Udihe which consist of: (a) interrogative-interrogative, (b) interrogative-demonstrative and (c) interrogative- \emptyset . Interestingly, these constructions are seen not only in other Tungusic languages but also in neighboring major languages such as Chinese and Russian. Some previous researches have pointed out the possibility that the correlative clauses in Tungusic languages resulted from the influence of Chinese and Russian. However, it is difficult to reach a conclusion since the study on correlative clauses of the Tungusic languages has not been fully carried out. This paper aims to compare each type of correlative clauses in Udihe with those of Russian and Chinese in syntactic level. In conclusion, it is proved that the correlative clauses of Udihe have both characteristics of those of Chinese and Russian as below.

- | | | |
|---------------------------------|---|---------------------|
| (a) interrogative-interrogative | ⇔ | Chinese |
| (b) interrogative-demonstrative | ⇔ | Russian |
| (c) interrogative- \emptyset | ⇔ | Chinese and Russian |

(ベック・サンヤップ iyairaykere@hotmail.co.jp)